

トピックス

聴覚障がい者に使いやすい配慮をした身近な製品
 (下の例は、日常生活用具です。)



● 呼び出し用機器が振動することで
 順番を知らせてくれます。



● 来客時のチャイムの音を、光や
 振動で知らせる機器があります。

もう 盲ろう者

盲ろう者とは、ヘレン・ケラーのように
 「目と耳の両方に障がいがある人」のこ
 をいいます。

市内には20名程の盲ろう者がいます。
 独力では外出や他者との会話が困難なため、
 周りの方の支援が必要不可欠です。

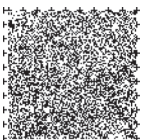


● 東京都盲ろう者支援センター

ホームページのURL : <http://www.tokyo-db.or.jp/>

電話 : 03-3864-7003

ファックス : 03-3864-7004



かんたん しゅわ
簡単な手話

- 災害や事故などが起きた時、聴覚障がい者に情報を確実に伝えお互いに助け合い、命を守ることが大事です。

情報伝達の早い遅いで命にかかわることもあります。そのような時は手話ができなくても、表情や身振りを交えて伝えたり、筆談をしたり、携帯電話やスマートフォンを使って文を作成する（メモの代わり）など、なんとか伝えたい、助け合いたいという気持ちが大切です。

● ありがとう



左手甲に右手を
直角にのせ、上
に上げる。

● お願いします



右手を顔の中央
から下ろす。

● わかりました



右手を胸にあて
下に下ろす。

● どうしましたか？



人差し指を立て
左右に軽く振る。

● 大丈夫です



右手の指先を左胸
にあて、その右手
の指先をそのまま
右胸へ移動させる。

● 一緒に行きましょう



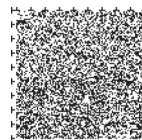
相手に向けて伸ば
した両手の人差し
指を体の前で合わ
せ、そのまま前
につき出す。

でんわ
電話リレーサービス

トピックス

電話リレーサービスは、耳が聞こえない人に代わって手話通訳オペレーターが電話をかけるサービスです。

耳が聞こえない人が電話をかけたい時に、テレビ電話や文字チャットで手話通訳オペレーターに接続し、相手先とのやりとりができます。



高齢者

ほか（色覚障がい、聞こえにくい）

高齢者について

高齢者は年齢を重ねるにつれ、視覚や聴覚をはじめさまざまな機能が低下していきます。近年、FAXやパソコン・携帯電話などの情報が機器が発達しています。これらの機器の活用を支援することは、豊かな情報社会を築く上で重要です。

情報を入手するのに、どんな問題がありますか？

- 視力の低下により小さな文字は読みにくいです。また、色の区別などがつきにくくなります。
- 聴力の低下により、通常の会話や電話での対応が困難になります。また、会議・行事等への参加がしにくくなります。
- パソコンや携帯電話などの情報ツールの使用方法がわかりにくいです。
- 視覚や聴覚が低下した時の情報の伝え方が課題です。
- * 点字習得は若年時でないと困難です。手話やパソコンは覚えるのに時間がかかる人もいます。



高齢者からの声

- 話をするときには、ゆっくりわかりやすく説明してほしいです。
- 高齢者に対するパソコン講習会などを充実させてほしいです。
- 高齢者に対する防災情報の伝達方法の検討を進めてほしいです。

高齢者などに読みやすい資料作りのポイント

文字の大きさ：最低12ポイント以上（読みやすいのは18ポイント以上）
 字体：ゴシック体は太さが均一なので読みやすい。
 色：色のコントラストを利用して、文字を強調したり、印刷物にメリハリをつける。



▲ 良い例：青と白



▲ 悪い例：黒とグレー

